

# 下水道区域の見直し

## 【見直しが必要な理由】

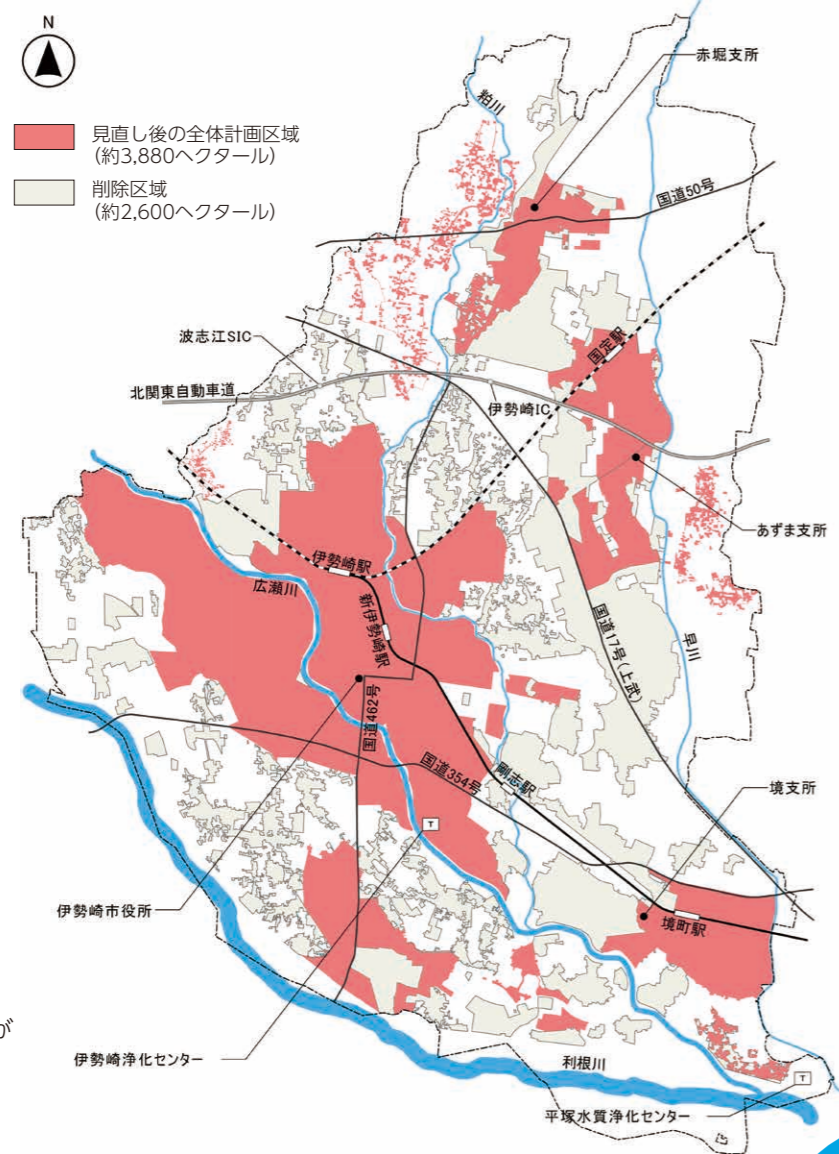
- 近年の人口減少などの社会情勢を踏まえ、効率的な下水道事業運営を行う必要があります
- 汚水処理人口普及率の向上を図り、全ての住民の皆さんが適切に汚水を処理し、早期に衛生的な生活を営めるようにする必要があります



## 【見直しの考え方】

- 市街化区域などは、人口密度が高く、下水道整備の投資効果が高いため下水道整備を行います
- 市街化調整区域などは、下水道処理と浄化槽処理の経済的な優位性を比較し区域を設定します
- 下水道の整備完了までに時間を要する区域や、家屋が散在し人口密度の維持が見込まれない区域などは、合併処理浄化槽による効率的・効果的な汚水処理を行う必要があります

## 公共下水道全体計画(汚水)区域見直し(案)



※一部変更となる場合があります

## オープンハウス(個別説明)を実施します

オープンハウスでは、職員が会場に常駐し来場者に対し個別説明を行います。都合の良い日時・会場にお越しください。詳しくは市HPを確認してください。

### 【市役所東館 1階市民ホール会場】

時 1月26日(日)から28日(火)まで

### 【ナルセグループ伊勢崎市民プラザ会場】

時 2月2日(日)から4日(火)まで

### 【赤堀公民館会場】

時 2月9日(日)・10日(月)・12日(水)

### 【あずま公民館会場】

時 2月16日(日)から18日(火)まで

### 【境公民館会場】

時 2月23日(祝)・25日(火)・26日(水)

平日は  
午前10時～午後7時  
日曜・祝日は  
午前10時～午後4時  
で開催します



# 伊勢崎市公共下水道全体計画(汚水)見直し素案を作成しました

本市は、昭和46年から下水道事業に着手し、昭和52年に供用を開始しました。「公衆衛生の向上」、「生活環境の改善」、「公共用水域の水質保全」を図ることを目的とし、継続的に公共下水道区域の拡大を行いながら、下水道の整備を進めています。

近年の人口減少などの社会情勢を踏まえ、持続可能な下水道事業運営に向けて伊勢崎市公共下水道全体計画(汚水)の見直し素案を作成しました。詳しくは市HPを確認してください。

☎ 下水道整備課(☎27-2777)



▲市HP

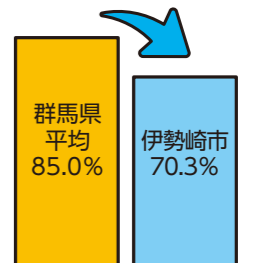
## 公共下水道全体計画とは？

将来の地域の状況に対応した下水道の整備区域を定める長期的な計画であり、おおむね20～30年後を目標年次として策定されます。人口減少などの社会情勢の変化に伴い、適宜見直しを行う必要があります。

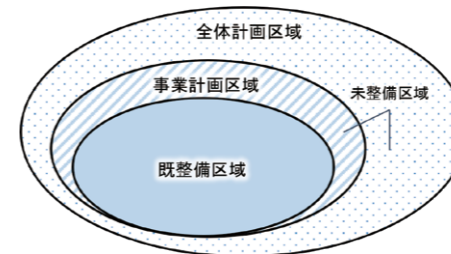
## 伊勢崎市公共下水道事業の現状

本市の汚水処理人口普及率は70.3%(令和5年度末)、群馬県内35市町村のうち26番目の順位で、群馬県平均の85.0%よりも低い状況です。下水道の整備率は、事業計画面積に対して67.3%、全体計画面積に対して29.0%となっています。

※汚水処理人口普及率(%) = (公共下水道+農業集落排水+合併処理浄化槽)を利用している人口÷行政人口×100



## 区域のイメージ



## 既計画面積と整備状況【令和5年度末】

全体計画区域	6,449ヘクタール
事業計画区域	2,779ヘクタール
既整備区域	1,869ヘクタール

## 伊勢崎市公共下水道事業の課題

本市の下水道事業は平成17年の市町村合併時に統合を行い、区域を拡大しました。合併から約20年の間でわずかな区域の見直しはあったものの、大きな見直しを行うことなく現在に至ります。直近10年の年間平均整備面積は37.8ヘクタールです。今後も同程度の整備を継続していくと仮定した場合、未整備区域4,580ヘクタールの整備完了までに約120年を要します。下水道事業の早期完成のためには年間整備量を増やす必要がありますが、現在の整備費用については大部分を国庫補助金と企業債(借金)により賄っており、これまで以上の整備事業の実施は財政的に困難といえます。



## 国・県の方針(汚水処理計画)

市街化区域や人口密集区域であっても、長期間にわたり下水道の整備完了が見込まれない場合、下水道全体計画区域から削除し、合併処理浄化槽による汚水処理を推進することなど、地域に適した対応を求めています。

■国の方針=令和8年度までに全国平均汚水処理人口普及率…95.0%

■県の方針=令和14年度までに県平均汚水処理人口普及率…92.0%